

令和 5 年度  
業 務 年 報

目 次

|   |           |    |
|---|-----------|----|
| 1 | 沿革        | 1  |
| 2 | 業務概要      | 2  |
| 3 | 機構（組織・職員） | 3  |
| 4 | 施設（土地・建物） | 4  |
| 5 | 設備        | 5  |
| 6 | 業務実績      | 8  |
| 7 | 役員名簿      | 14 |

宮崎県機械技術センター  
公益財団法人 宮崎県機械技術振興協会

〒882-0024 延岡市大武町 39-82

TEL (0982)23-1100

FAX (0982)23-1104

URL <https://www.mmtc.or.jp/>

E-mail [info@mmtc.or.jp](mailto:info@mmtc.or.jp)

## 1 沿革

県北における工業技術に関する試験研究指導機関の歴史は、昭和 11 年に都城市北原町に設置された県立工芸指導所の延岡分所に始まる。その後、昭和 14 年に機械工訓育所が併設され、県北の産地型技術指導機関として中小企業の技術指導と技術者の養成に貢献した。しかし、戦後の混乱期に、これら指導所、訓育所は相次いで閉鎖の止むなきに至った。

その後、昭和 22 年に、戦後産業復興の一環として、工業の振興が本県産業の振興に寄与するとの観点から、昭和 23 年 3 月、県都宮崎市に、工業技術の振興を図るための総合的試験研究指導機関として県立工業試験場が設立され、都城市にはその分場として、昭和 22 年に設置されていた木工技術員養成所を吸収合併し、都城分場が設置され、その内容の充実が図られた。このような情勢の中、工業集積の高い県北では、昭和 35 年頃から、都城分場に対応する延岡分場の設置要望が起り、特に、昭和 39 年に日向延岡地区が新産業都市の指定を受けて以来、分場誘致運動が活発となり、さらに、昭和 49 年に延岡市に鉄工団地が建設されたことで、機械・金属工業部門の技術指導機関設置への要望が一段と高まった。

これらの地元の要望に応じて県では、昭和 54 年 4 月に、第一次オイルショック後の県北の特定不況地域の指定に対応する施策の一環として、延岡市大武町に宮崎県機械技術センターを設立することとなった。

また、平成 18 年 4 月に、県から宮崎県機械技術センターの指定管理者として指定を受け、さらには、平成 25 年 4 月から「公益財団法人」として新たなスタートを切り、現在に至っている。

|         |   |
|---------|---|
| 昭和 35 年 | 延岡商工会議所より工業試験場分場設置について陳情  |
| 昭和 45 年 | 延岡商工会議所より機械金属技術指導機関の設置について県に要望書提出   |
| 昭和 48 年 | 延岡鉄工団地協同組合より工業試験場分場設置について陳情   |
| 昭和 50 年 | 延岡市議会議長より県工業試験場延岡分場誘致に関する陳情書を県に提出   |
| 昭和 51 年 | 延岡市長、日向市長及び門川町長が連名で工業試験場分場設置について県議会に請願<br>県議会において請願採択   |
| 昭和 53 年 | 県議会において公の施設に関する条例の改正（宮崎県機械技術センターの設置）を議決<br>宮崎県機械技術センター建設工事着工  |
| 昭和 54 年 | 財団法人宮崎県機械技術振興協会を設立<br>宮崎県機械技術センター完成<br>宮崎県機械技術センター業務を開始。宮崎県は 4 月 1 日付けで宮崎県機械技術センターの管理、運営業務の委託について、財団法人宮崎県機械技術振興協会と契約を締結<br>宮崎県機械技術センター竣工式を挙げる |
| 昭和 55 年 | 昭和 55 年度より 3 ヶ年計画により指導設備の整備を実施  |
| 昭和 61 年 | 宮崎県機械技術センター強化整備計画により別棟工事着工（日本小型自動車振興会補助）  |
| 昭和 62 年 | 別棟工事完工<br>昭和 62 年度より強化整備計画による指導設備の整備を開始   |
| 平成 9 年  | ホームページを開設し、情報発信機能を整備  |
| 平成 17 年 | ホームページを再構築し、情報発信機能を強化   |
| 平成 18 年 | 指定管理者制度に基づき、宮崎県機械技術センターの管理者に指定（第 1 期：H18～H20）   |
| 平成 21 年 | 指定管理者制度に基づき、宮崎県機械技術センターの管理者に指定（第 2 期：H21～H25）   |
| 平成 25 年 | 公益財団法人宮崎県機械技術振興協会に移行  |
| 平成 26 年 | 指定管理者制度に基づき、宮崎県機械技術センターの管理者に指定（第 3 期：H26～H30）   |
| 平成 31 年 | 指定管理者制度に基づき、宮崎県機械技術センターの管理者に指定（第 4 期：H31～R5）  |

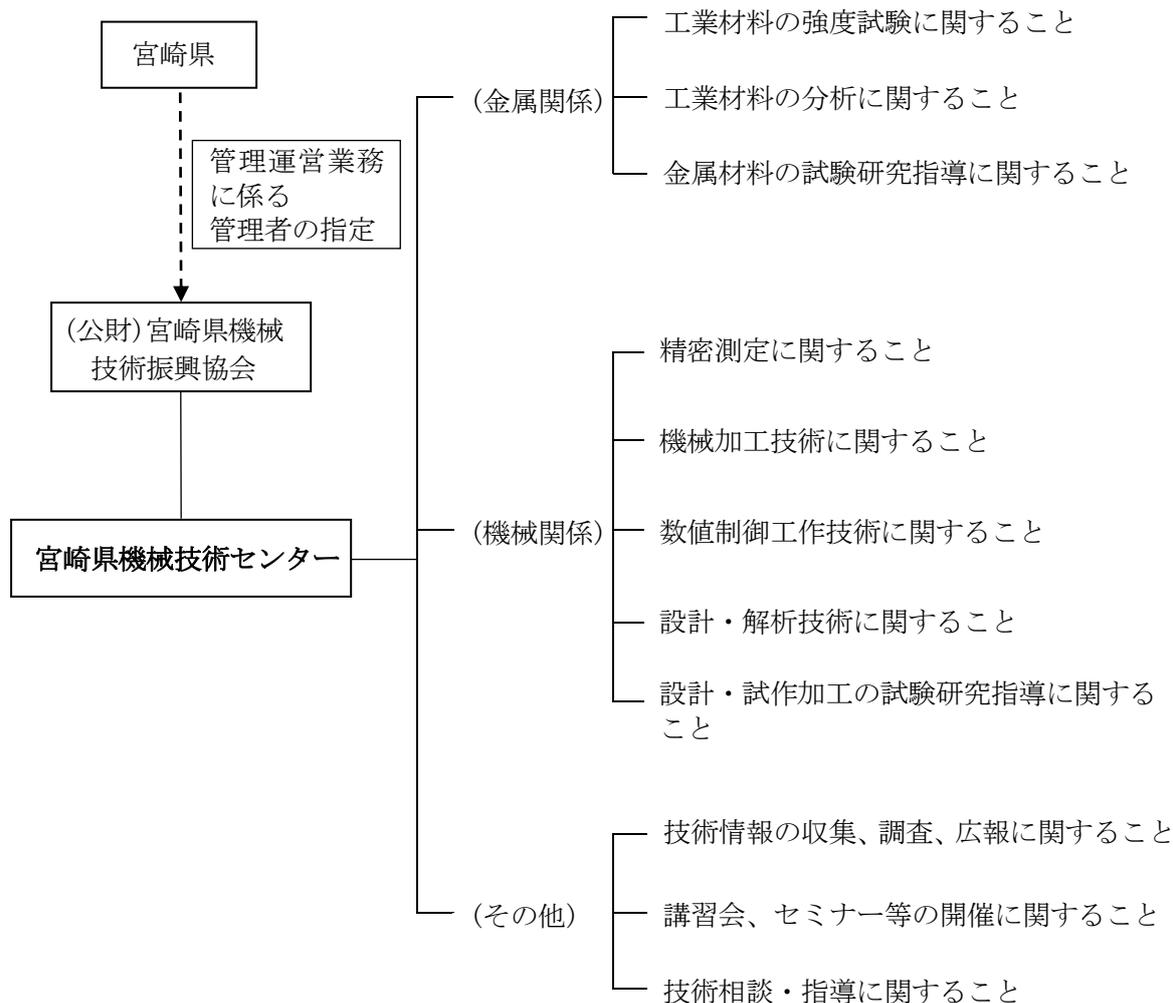
## 2 業務概要

宮崎県機械技術センター（以下「センター」という。）は、県内機械金属工業の振興を目的とし、主として県北を中心とする関連企業を対象に、機械金属技術に関する各種の支援業務を行っている。なお、当センターの管理運営は宮崎県の指定により、(公財)宮崎県機械技術振興協会がこれを行っている。

- (1) 技術の向上を目的とした業務
  - ① 技術相談・指導
  - ② センター機械設備の取扱研修の開催
  - ③ 技術講習会、技術セミナーの開催
  - ④ 専門家等派遣による現場指導又は技能伝承の実施
  - ⑤ ものづくりに係る品質向上の指導の実施
  
- (2) 試験研究に関する業務
  
- (3) 設備利用に関する業務
  
- (4) 依頼試験に関する業務
  
- (5) 先進地技術調査及び新技術導入のための派遣研修に関する業務
  
- (6) 宮崎県工業技術センター等他機関との連携に関する業務
  
- (7) 補助金等申請に関する支援業務
  
- (8) 情報の収集と発信に関する業務

### 3 機構

#### 3-1 組織



#### 3-2 職員一覧

(令和6年3月31日現在 7名)

| 職名   | 氏名   | 備考                    |
|------|------|-----------------------|
| 所長   | 平山国浩 | (公財)宮崎県機械技術振興協会常務理事   |
| 事務局長 | 真田透  | (公財)宮崎県機械技術振興協会職員     |
| 主幹   | 村野雄一 | (公財)宮崎県機械技術振興協会職員     |
| 主任   | 鮫島隆司 | (公財)宮崎県機械技術振興協会職員     |
| 専門技師 | 津田洋行 | (公財)宮崎県機械技術振興協会有期雇用職員 |
| 技師   | 竹原美喜 | (公財)宮崎県機械技術振興協会無期雇用職員 |
| 主事   | 黒木美保 | (公財)宮崎県機械技術振興協会無期雇用職員 |

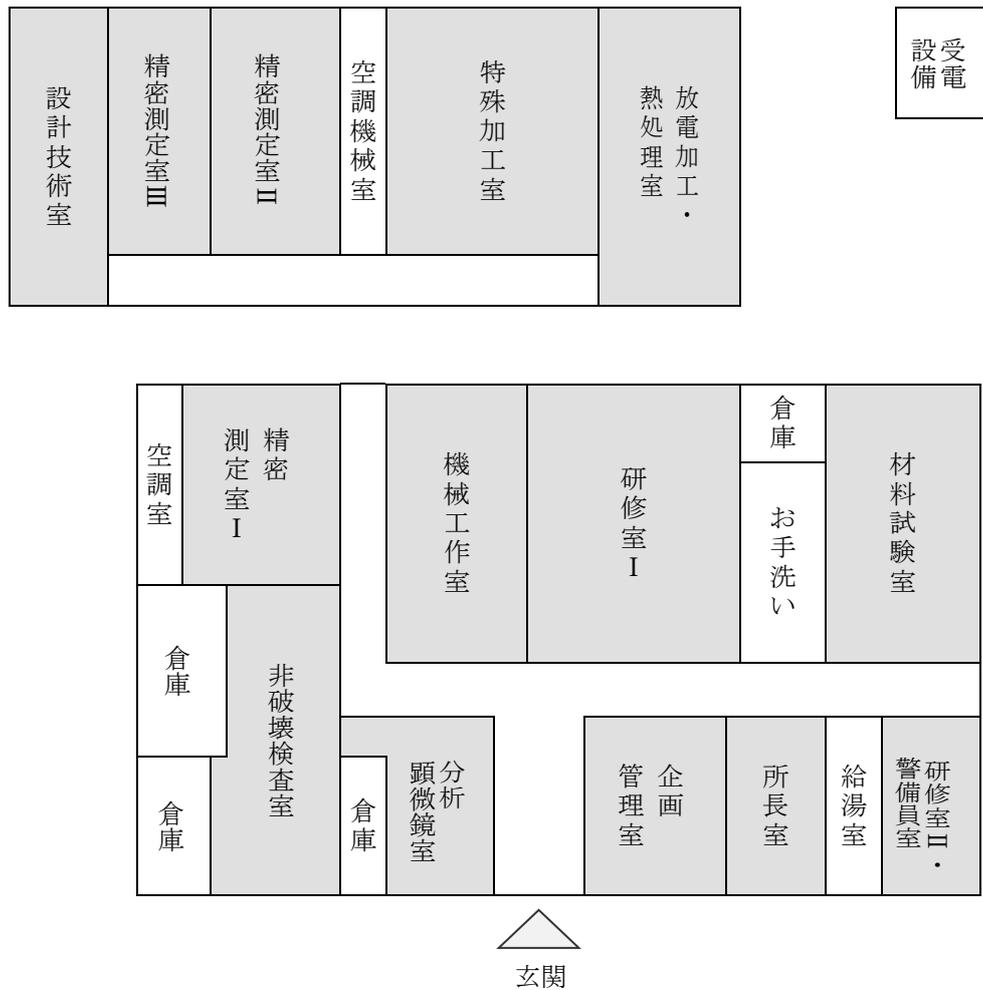
## 4 施設

### 4-1 土地・建物

所在地 宮崎県延岡市大武町 39 番地 82  
 敷地 2,682.45 m<sup>2</sup>  
 建物 787.59 m<sup>2</sup> (本館 540 m<sup>2</sup>, 別棟 226.5 m<sup>2</sup>, その他 21.09 m<sup>2</sup>)

|           |                     |           |                       |
|-----------|---------------------|-----------|-----------------------|
| 企画管理室     | 30.3 m <sup>2</sup> | 機械工作室     | 48.4 m <sup>2</sup>   |
| 所長室       | 20.2 m <sup>2</sup> | 設計技術室     | 28.9 m <sup>2</sup>   |
| 研修室Ⅱ・警備員室 | 20.2 m <sup>2</sup> | 精密測定室Ⅲ    | 21.4 m <sup>2</sup>   |
| 研修室Ⅰ      | 76.0 m <sup>2</sup> | 精密測定室Ⅱ    | 33.2 m <sup>2</sup>   |
| 材料試験室     | 56.0 m <sup>2</sup> | 特殊加工室     | 53.7 m <sup>2</sup>   |
| 精密測定室Ⅰ    | 42.0 m <sup>2</sup> | 放電加工・熱処理室 | 45.0 m <sup>2</sup>   |
| 非破壊検査室    | 64.0 m <sup>2</sup> | 給湯室       | 10.1 m <sup>2</sup>   |
| 分析顕微鏡室    | 40.4 m <sup>2</sup> | その他       | 197.79 m <sup>2</sup> |

### 4-2 建物平面図



## 5 設備

### 5-1 主要機械設備

| 区分                   | 設備名                 | 製造会社                  | 型式・能力              | 設置年度   |
|----------------------|---------------------|-----------------------|--------------------|--------|
| 試験<br>検査             | 万能材料試験機 (100トン)     | 島津製作所                 | UMH-100NIR型 (100t) | S 53   |
|                      | 万能材料試験機 (10トン)      | 東京衡機製造所               | RU-10DA            | S 56 ※ |
|                      | 油圧式万能試験機 (100トン)    | 島津製作所                 | UH-F1000kNX        | R 5 ※  |
|                      | 精密万能試験機 (10トン)      | 島津製作所                 | AGS-10kNX STD      | R 5 ※  |
|                      | 工業用ファイバースコープ        | オリンパス                 | IF8D4-15           | S 63 ● |
|                      | ビッカース硬度計            | 明石製作所                 | AVK-C2             | H 02 ● |
|                      | 顕微鏡試料作製装置           | 丸本工業                  | ラボトム/プロントプレス-10    | H 08 ● |
|                      | 超微小硬度計              | 島津製作所                 | DUH-201S           | H 08   |
|                      | 表面形状測定顕微鏡           | キーエンス                 | VF-7500            | H 10 ● |
|                      | ブリネル硬さ試験機           | 島津製作所                 | 3000kgf            | H 10   |
|                      | 三次元干渉測定顕微鏡          | キヤノン                  | 5010               | H 11 ● |
|                      | デジタルロックウェル硬度計       | アカシ                   | ATK-F3000L         | H 12 ● |
|                      | オートグラフ              | 島津製作所                 | AG-5000B           | H 05 ● |
|                      | 超音波探傷器              | 湘菱電子                  | UI-23D             | H 14 ● |
|                      | 低真空走査電子顕微鏡          | 日本電子                  | JSM-6380LA/KM      | H 16 ※ |
|                      | デジタルマイクロスコープ        | ハイロックス                | KH-7700            | H 21 ★ |
|                      | マイクロビッカース硬度計        | 島津製作所                 | HMV-2              | H 21 ★ |
|                      | 万能材料試験制御器 (100トン)   | 島津製作所                 | UH-1               | H 21 ★ |
|                      | 超音波顕微鏡              | 日本レーザー                | SAM300             | H 21 ★ |
|                      | サーモグラフィー            | NEC Avio              | H2630              | H 23 ☆ |
|                      | 超音波プローブ             | 日本レーザー                | 100MHz             | H 23 ☆ |
|                      | 動ひずみ測定ユニット          | 東京測器研究所               | TMR-222            | H 23 ☆ |
|                      | オートグラフ制御装置          | 島津製作所                 | TRAPEZIUM2         | H 23 ☆ |
|                      | 蛍光X線分析装置 (エネルギー分散型) | 島津製作所                 | EDX-8000           | H 26 ※ |
| 実体顕微鏡用デジタルカメラ        | オリンパス               | DP73                  | H 26               |        |
| 赤外顕微鏡付きフーリエ変換赤外分光光度計 | 日本分光                | FT/IR-6600・IRT-5200   | H 29 ※             |        |
| EDS付き低真空走査電子顕微鏡      | 日本電子                | JSM-IT500/LA (LaB6仕様) | R 2 ※              |        |
| 熱処理                  | 電気炉 (18 kW)         | サーマル                  | STL-5              | H 09   |
|                      | 放電被覆肉盛り装置           | テクノコート                | 42-50              | H 11   |
| 精密加工                 | 超精密平面研削盤            | 三井ハイテック               | MSG-250H2          | H 01 ● |
|                      | 砥粒流動研磨装置            | 東洋エクステル・ホーン           | Mark VII-80        | H 03 ● |
|                      | NCワイヤカット放電加工機       | 西部電機                  | EW-A5S             | H 17 ○ |
|                      | NC成形放電加工機           | ソディック                 | A35R               | H 17 ○ |
|                      | 精密万能自動切断機           | 平和テクニカ                | HS-45A IIS         | H 17 ○ |
| 工                    | ドリル研削盤              | 細井工作所                 | U-nice             | H 13   |

|                      |                    |                   |                     |        |
|----------------------|--------------------|-------------------|---------------------|--------|
| ドリルタップ盤              | 中根製作所              | NXT-13DT          | H 14                |        |
| 万能工具研削盤              | 牧野フライス製作所          | C-40              | H 14 ●              |        |
| 平面研削盤                | 黒田精工               | GS-63PF           | H 21 ★              |        |
| コンプレッサー              | 三井精機工業             | ESCAL46R          | H 23 ☆              |        |
| 万能投影機                | ミットヨ               | PJ-311            | H 01                |        |
| 輪郭測定機                | ミットヨ               | CBH-400           | H 02 ●              |        |
| CNC三次元測定機            | 東京精密               | PA800A-V-60X      | H 05 ●              |        |
| CNC三次元測定機            | ミットヨ               | FALCIO-Apex9166   | H 18 ※              |        |
| 真円度測定機               | ミットヨ               | ラウンドテストRA-736     | H 17 ○              |        |
| 工具顕微鏡                | ニコンインステック          | MM-100AU          | H 17 ○              |        |
| 工具顕微鏡画像ユニット          | ミットヨ               | QSPAK             | H 23 ●☆             |        |
| 表面粗さ測定機              | 東京精密               | サーフコム 480A-13     | H 17                |        |
| マシンチェックゲージ           | レニショー              |                   | H 17                |        |
| ボールバーシステム            | レニショー              | QC10              | H 19 ※              |        |
| ダイヤルゲージ検査機           | ミットヨ               | アイチェッカ IC1000/KM  | H 21 ★              |        |
| 輪郭測定器                | 東京精密               | コンタ-レコード 2600E-13 | H 21 ★              |        |
| CNC三次元測定機用制御器        | 東京精密               | PA800A-V-41X      | H 21 ★              |        |
| 非接触三次元構造解析顕微鏡制御器     | キャノンマーケティングジャパン    | ZYGO              | H 21 ★              |        |
| 真円度測定ソフトウェア          | ミットヨ               | ROUNDPAK-CMM      | H 23 ☆              |        |
| レーザー計測システム           | レニショー              | XL-80             | H 27                |        |
| レーザー計測システム用オプションユニット | レニショー              | XL-80             |                     |        |
| 高精度3次元形状測定機          | キーエンス              | VR-5000           | R 2                 |        |
| 設<br>計               | CADデータ変換・修正システム    | エリジオン             | CAD doctor          | H 21 ※ |
|                      | 3D-CAD・CAM・CAEシステム | ソリッドワークスジャパン(株)   | SOLIDWORKS          | R 1    |
|                      | ラピッドプロトタイピング装置     | Stratasys Inc.    | Dimension BST1200es | H 21 ※ |
|                      | 立体形状撮影システム         | トプコン              | Image Master Pro    | H 23 ☆ |
|                      | CAD用大型プリンター        | キャノン              | Image PROGRAPH iPF  | H 23 ☆ |

※ JKA補助 ● 日本小型自動車振興会補助 ○ 活性化支援事業費補助

★地域活性化・経済危機対策交付金 ☆地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）

## 5-2 設備料金表

| 番号 | 設備名                | 料金単価<br>(円/時) | 番号 | 設備名         | 料金単価<br>(円/時) |
|----|--------------------|---------------|----|-------------|---------------|
| 1  | CNC 三次元測定機 (ミットヨ製) | 3,305         | 29 | 万能工具研削盤     | 765           |
| 2  | CNC 三次元測定機 (東京精密製) | 3,305         | 30 | ドリル研削盤      | 340           |
| 3  | 輪郭測定機              | 990           | 31 | 卓上フライス盤     | 90            |
| 4  | 真円度測定機             | 880           | 32 | 卓上ミニ旋盤      | 65            |
| 5  | 工具顕微鏡              | 2,340         | 33 | ドリルタップ盤     | 55            |
| 6  | 低真空走査電子顕微鏡         | 1,835         | 34 | 電気炉 (18 kW) | 1,005         |

|    |                  |       |    |                       |       |
|----|------------------|-------|----|-----------------------|-------|
| 7  | 表面形状測定顕微鏡        | 1,800 | 35 | 表面粗さ測定機               | 420   |
| 8  | 実体顕微鏡            | 740   | 36 | マシンチェックゲージ            | 105   |
| 9  | デジタルマイクロスコープ     | 1,470 | 37 | ラピッドプロトタイピング装置        | 1,665 |
| 10 | 工業用ファイバースコープ     | 220   | 38 | CAD データ変換・修正システム      | 1,110 |
| 11 | 万能材料試験機 (100 トン) | 910   | 39 | 超音波顕微鏡                | 1,260 |
| 12 | 万能材料試験機 (10 トン)  | 1,625 | 40 | ダイヤルゲージ検査機            | 430   |
| 13 | オートグラフ           | 4,080 | 41 | サーモグラフィー              | 1,005 |
| 14 | 超音波探傷器           | 420   | 42 | CAD 用大型プリンター          | 1,525 |
| 15 | デジタルロックウェル硬度計    | 365   | 43 | 立体形状撮影システム            | 710   |
| 16 | ビッカース硬度計         | 630   | 44 | 精密万能自動切断機             | 620   |
| 17 | マイクロビッカース硬度計     | 500   | 45 | 蛍光 X 線分析装置 (エネルギー分散型) | 1,820 |
| 18 | 超微小硬度計           | 2,145 | 46 | 赤外顕微鏡付き FT-IR         | 1,765 |
| 19 | ブリネル硬さ試験機        | 325   | 47 | 実体顕微鏡用デジタルカメラ         | 1,250 |
| 20 | 超音波硬さ計           | 130   | 48 | レーザー計測システム            | 1,220 |
| 21 | 反発式ポータブル硬度計      | 115   | 49 | 3D-CAD・CAM・CAE        | 1,700 |
| 22 | ボールバーシステム        | 675   | 50 | 高精度 3 次元形状測定機         | 2,175 |
| 23 | 試料研磨システム         | 435   | 51 | EDS 付き低真空走査電子顕        | 2,510 |
| 24 | 顕微鏡試料作製装置        | 500   | 52 | 油圧式万能試験機 (100 トン)     | 2,405 |
| 25 | NC 成形放電加工機       | 2,330 | 53 | 精密万能試験機 (10 トン)       | 1,445 |
| 26 | NC ワイヤカット放電加工機   | 2,405 |    |                       |       |
| 27 | 平面研削盤            | 815   |    |                       |       |
| 28 | 砥粒流動研磨装置         | 1,270 |    |                       |       |

(令和 6 年 3 月 3 1 日現在)

## 6 業務実績

### 6-1 技術の向上を目的とした業務

#### 6-1-1 技術相談・指導

企業から寄せられた様々な技術相談や技術指導の依頼に対応した。

技術相談 378件 (87企業)

技術指導 382件 (延べ401人)

#### 6-1-2 研修会、セミナー等の実施

企業の技術の向上を目指して各種の研修会、セミナー等を開催した。

##### ① センター機械設備の取扱研修

5コース 8回 (延べ26人)

| 研修名                     | 回数 | 延べ人数 |
|-------------------------|----|------|
| E D S 付き低真空走査電子顕微鏡の操作研修 | 3  | 5    |
| 高精度 3次元形状測定機操作研修        | 1  | 1    |
| デジタルマイクロスコブ操作研修         | 1  | 1    |
| 赤外顕微鏡付き F T - I R の操作研修 | 2  | 18   |
| NC 成形放電加工機操作基礎研修        | 1  | 1    |
| 合計                      | 8  | 26   |

##### ② 技術講習会

4回 (延べ80人)

| 実施日          | 講習会名                                   | 講師  | 参加人数 |
|--------------|--|---|------|
| R5. 9. 4~10  | 『BT30 番コンパクトマシニングセンタによる生産現場改革』Web セミナー | ブラザー工業株式会社 マシナリー事業 産業機器営業部 国内営業G 大阪営業所<br>石川 博康 氏 | 22   |
| R5. 10. 2~9  | 「身の丈から始める IoT」WEB セミナー                 | 吉玉精鍍株式会社 スマート工場推進部長 畝原 広美 氏                       | 26   |
| R5. 11. 6~19 | S E M - E D S 基礎 W e b セミナー            | 宮崎県機械技術センター 主幹 村野 雄一                              | 27   |
| R5. 11. 8~9  | S E M - E D S 実技 (リアル) セミナー            | 日本電子株式会社 西日本ソリューションセンター<br>主査 藤田 憲市 氏             | 5    |

#### 各講習会の内容

|  |  |
|--|--|
| 『BT30 番コンパクトマシニングセンタによる生産現場改革』Web セミナー | 高生産性・省エネ性能に優れたコンパクト MC の最新技術動向について学ぶ内容だった。 |
|--|--|

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 「身の丈から始める IoT」WEBセミナー | 吉玉精鍍様の工場現場での様々な困り事の改善をきっかけに7年前よりアラートに関するIoTの本格的な取組みを実施されてきた事例を紹介する内容だった。 |
| SEM-EDS基礎Webセミナー      | 初心者から中級レベルの方までを対象にSEM-EDSの基礎、利点や欠点、実施例を解りやすく解説した。                        |
| SEM-EDS実技(リアル)セミナー    | 実際に測定サンプルを持ち込んでいただき、分析に関して悩んでいることを講師とともに解決していただく内容だった。                   |

### ③ 技術セミナー

今年度は昨年度のDXの基礎に関する内容から少し進んだDXの事例等を解説するセミナーを講演内容を限定公開で令和5年12月11日から17日までYouTubeを使って動画配信した。

公開日 : 令和5年12月11日～17日

配信方法 : YouTubeを利用した動画無料配信 (限定公開)

主催 : (公財)宮崎県機械技術振興協会

共催 : INOBECCH協同組合

後援 : 延岡市、延岡商工会議所、(一社)宮崎県工業会

受講希望者 : 75名

演題(講師) :

テーマ 「未来をつかむIT入門」

～初心者でもわかるDXとchatGPT活用方法～

講師 : 株式会社システムシェアード

専務取締役 室井明氏

※同時配信(昨年度の動画をアーカイブ配信)

テーマ IT知識不要 「80分でわかる、DXによるビジネスの変化」

講師 : 株式会社システムシェアード

専務取締役 室井明氏

内容 : 前半部でIT技術による社会の変化と事業の変化について、具体例を説明していただき、後半部でデジタル時代の人材活用について説明していただいた。また、今話題の生成AI(chatGPT)にも触れていただき、ITは関係ないという産業ほど「IT企業化」が必要な理由を解りやすく解説していただいた。少子高齢化が急速に進む中で、AI、クラウド、ロボットなどの新技術を用いた人の作業の効率UPや省人化が必須になってきている。今回の講演はDXへの取り組みについてヒントとなった内容であった。

#### 6-1-3 専門家等派遣による現場指導又は技能伝承

2件(延べ8回)

令和5年度高校生溶接技術競技会九州大会と全国選抜大会に臨む日向工業高校生の溶接スキル向上のため、溶接技能に長けた専門家を延べ8日間(又は8回)派遣し、アーク溶接技能の現場指導を実施した。

| 受講者                      | 専門家                    | 内 容               | 実施日          |
|--------------------------|------------------------|-------------------|--------------|
| 日向工業高校生<br>(申請者：ひまわり工業会) | 原田 芳男 氏<br>((株)アキタ製作所) | アーク溶接技能の指導<br>1回目 | 令和 5. 7. 18  |
|                          |                        |                   | 令和 5. 7. 20  |
|                          |                        |                   | 令和 5. 7. 27  |
|                          |                        |                   | 令和 5. 8. 2   |
| 日向工業高校生<br>(申請者：ひまわり工業会) | 原田 芳男 氏<br>((株)アキタ製作所) | アーク溶接技能の指導<br>2回目 | 令和 5. 10. 12 |
|                          |                        |                   | 令和 5. 10. 21 |
|                          |                        |                   | 令和 5. 10. 30 |
|                          |                        |                   | 令和 5. 11. 9  |

#### 6-1-4 ものづくりに係る品質向上事業

4社 (延べ6件)

企業の製造現場で使用される工作機械等の精度を維持、確認するため、センターの機器を用いて工作機械、三次元測定機、計測ゲージ等の精度検査や指導を行った。

#### 6-2 試験研究に関する業務

県内の企業と2件の共同研究を行った。具体的には株式会社全日本検査技術とチタン素材の研磨/琢磨技術に関する共同研究を、マイクロース株式会社と光沢Snメッキに関する共同研究を実施した。

#### 6-3 設備利用に関する業務

| 設 備 名              | 利用件数 | 時間数 | 収入額 (円) |
|--------------------|------|-----|---------|
| EDS 付き低真空走査電子顕微鏡   | 81   | 88  | 220,880 |
| CNC 三次元測定機 (ミットヨ製) | 47   | 82  | 271,010 |
| 輪郭測定機              | 36   | 36  | 35,640  |
| オートグラフ             | 34   | 34  | 138,720 |
| 電気炉 (18kW)         | 14   | 15  | 15,075  |
| ダイヤルゲージ検査機         | 12   | 14  | 6,020   |
| NC 成形放電加工機         | 11   | 14  | 32,620  |
| デジタルマイクロスコープ       | 8    | 8   | 11,760  |
| 赤外顕微鏡付き FT-IR      | 8    | 8   | 14,120  |
| 高精度 3次元形状測定機       | 7    | 10  | 21,750  |
| その他                | 151  | 171 | 111,895 |
| 合 計                | 409  | 467 | 801,090 |

#### 6-4 依頼試験に関する業務

| 区 分  | 試料数   | 収入額 (円)   |
|------|-------|-----------|
| 引張試験 | 48    | 114,240   |
| 曲げ試験 | 36    | 85,680    |
| 圧縮試験 | 1,376 | 2,098,400 |
| 合 計  | 1,460 | 2,298,320 |

#### 6-5 先進地技術調査及び新技術導入のための派遣研修

|  |  |
|--|--|
| <p>先進地<br/>技術調査<br/>(19回)</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティ&amp;BCP セミナー受講</li> <li>・「広がる機能と使い方！最新機種 XGT-9000 Pro/Expert 活用セミナー」</li> <li>・『知って、試して、役立てる「攪拌・分散・解砕」あわとり練太郎を使いこなす』</li> <li>・『粒子分散系サンプルの分散性、安定性の評価手法』</li> <li>・樹脂分析の最短距離 ～島津が提案する新たなソリューション～Webセミナー</li> <li>・非接触三次元表面粗さ・形状測定実機デモ及び技術セミナー</li> <li>・卓上顕微鏡 Miniscope アスベスト分析セミナー</li> <li>・第30回技術・研究交流発表会</li> <li>・第23回分析講習会</li> <li>・WEBセミナー「表面粗さ測定機の正しい使い方」</li> <li>・レーザー加工機内覧会</li> <li>・走査電子顕微鏡-SEM-を用いた全固体電池分析の最新動向 web セミナー</li> <li>・自動車電動化対応セミナー</li> <li>・SEM-EDS と共焦点 Raman の結合システムによる分析および応用例の紹介</li> <li>・走査電子顕微鏡 (SEM) を用いた全固体電池分析の最新動向 web セミナー</li> <li>・ひなた技術マーケティングゼミ</li> <li>・効率的な切断・研磨作業を支援するアクセサリ (バイス・試料板等) のご紹介 web セミナー</li> <li>・宮崎県工業技術センター・食品開発センター研究成果発表会</li> <li>・オートグラフ Webinar   材料試験の効率化と最新試験機アップグレードのご紹介」</li> </ul> |
| <p>新技術導入<br/>のための派遣<br/>研修<br/>(10回)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「今さら聞けないシリーズ～蛍光 X 線を用いた元素分析の基礎～」</li> <li>・ラマン分光の基礎と高分子材料評価への応用</li> <li>・ビジネスモデルイノベーションセミナー 自組織全体の構造を俯瞰し理解する手法</li> <li>・ローカル 5G 基礎セミナー 5G ネットワークの基礎から応用まで</li> <li>・ひなた技術マーケティングゼミ 自社のコア技術の理解からイノベーション創造の方法</li> <li>・今日からできる SNS 活用術トレンド体験型セミナー</li> <li>・「チタンとチタン合金の微細構造検査用試料作製方法」Web セミナー</li> <li>・9時間で学ぶ初心者からのインターネット集客術</li> <li>・ワイヤカット放電加工機研修 (操作・メンテナンス)</li> <li>・JEOL ウェビナー「非導電性試料に対する SEM 観察の進め方 PartII ～ケーススタディに基づく帯電対策～」</li> </ul>  |

## 6-6 宮崎県工業技術センター等他機関との連携に関する業務

県工業技術センターと連携して技術指導、技術相談、設備利用、試験研究等に取り組んだ。

## 6-7 研究会運営の支援

主に(一社)宮崎県工業会県北地区部会の新事業・販路開拓分科会等に定期的に参加し、技術的側面から情報提供やアドバイス等の支援を行った。

## 6-8 補助金等申請支援に関する業務

0件(延べ0回)

設備投資や新事業展開のために外部資金獲得を目指している企業に対して、ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金や中小企業庁の研究開発補助金(サポイン事業)等の広報や申請書作成支援などを実施している。今回は具体的な依頼が無かった。

## 6-9 センター業務の公開・周知

### ① ホームページの更新(年15回)

4月(1回)、5月(1回)、7月(2回)、8月(1回)、9月(2回)、10月(1回)、11月(1回)、12月(2)、1月(1回)、2月(2回)、3月(1回)

1年間のアクセス件数: 2,702件

### ② 情報誌「2024 技術情報」第42号の発行(3月発行 250部)

### ③ メールマガジンの発行(年22回)

4月(1回)、6月(2回)、7月(4回)、8月(3回)、9月(2回)、10月(2回)、11月(2回)、12月(3回)、1月(3回)に発行

### ④ 見学受け入れ

延べ125名

## 6-10 企業巡回訪問

コロナ禍の状況下、企業訪問は困難を強いられたが、延べ72社を訪問し、企業のニーズ調査を行った。

## 6-11 利用者満足度調査

センター利用のサービス水準の向上を目的として、利用者の満足度の調査を行った。

利用者102名のうち47名から回答を得た。回答結果は今後のサービス内容の改善に生かす。

## 6-12 業務推進委員会

センター運営の充実や改善を図るため、県北を中心とした県内企業の代表者、幹部及び担当者ならびに行政機関及び関係団体の担当者(計12機関)に対し、センターに対する意見や機器設置の要望等について、面談し、アンケートをお願いする形で意見聴取を実施した。今後、意見や要望をもとに、機械設備の整備や運営方法の改善を検討する。

## 6-13 機械技術センター連携促進事業に関する業務

### 6-13-1 県北地域のイノベーション創出のための取り組み

#### ① 産学金労官のネットワーク強化及びイノベーション創出に係る事業の企画実施

「企業成長促進・産業人財育成・イノベーション共創プラットフォーム」を構成する機関との連携を密にして随時、情報交換を行うとともに、県内に埋もれた技術シーズを発掘し、事業化の支援を行った。

また、プラットフォームが実施する企業の新事業創出を支援する事業に参画し、県北地域の企業に広く周知した。

#### ② 県内外の大学等と県内企業とのマッチング機会の取り組み（2件）

今年度はプレス加工に関する技術と切断加工に関する技術で2件の企業間のマッチングを実施した。また、R5年度ものづくりセミナーを通してDXに関する最先端技術をもつ企業と県内企業とのマッチングの機会を設けた。今後も当センターでは県内外の大学等と県北部地域の企業ニーズを結びつける「場」を提供していく。

### 6-13-2 機械技術センターの利活用促進の取り組み

#### ① センター利用者の新規開拓

コロナ禍が明け、県北以外の企業にも訪問した。利用促進のためのセンターからの情報発信として、利用者が閲覧・利用しやすいようにホームページを適時、更新している。また、新たな情報発信手段として、Instagram、X（旧ツイッター）を開設した。さらに技術講習会において、多くの企業の実務者が、実際の業務で有用となるようなテーマ選定をし、新規の利用促進に努めている。

#### ② 職業体験実習生の受け入れ

日向市キャリア教育支援センター等が主催する「14歳のよのなか挑戦」に参画し、日向市立日向中学校2年生の生徒2名について、職業体験学習の受け入れを行った。

## 公益財団法人 宮崎県機械技術振興協会

本協会は県内の機械金属工業の振興を目的として、宮崎県・延岡市・日向市・門川町の出資により、昭和 54 年 2 月 17 日に設立され、平成 25 年 4 月に公益財団法人に移行し、次の事業を行っている。

- (1) 機械金属工業の技術指導及び調査研究
- (2) 機械金属工業に関する情報及び資料の収集
- (3) 宮崎県機械技術センターの管理運営
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

なお、宮崎県機械技術センターの管理運営は、平成 18 年 4 月より指定管理者制度を導入し、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 3 項、宮崎県の公の施設に関する条例(昭和 39 年宮崎県条例第 7 号)第 10 条の規定に基づき宮崎県より委託されており、また、機械技術センター手数料等の徴収事務も委託されている。

### 役員名簿

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

|      |     |    |                    |
|------|-----|----|--------------------|
| 評議員  | 酒井  | 剛  | (宮崎大学副学長)          |
| 評議員  | 池脇  | 信直 | (九州保健福祉大学副学長)      |
| 評議員  | 松浦  | 直康 | ((公財)宮崎県産業振興機構理事長) |
| 評議員  | 河野  | 昌弘 | ((一社)宮崎県工業会専務理事)   |
| 理事長  | 読谷山 | 洋司 | (延岡市長)             |
| 副理事長 | 黒木  | 保善 | (INOBECH 協同組合理事長)  |
| 理事   | 黒木  | 清  | (延岡商工会議所専務理事)      |
| 理事   | 野口  | 洋  | (日向商工会議所事務局長)      |
| 理事   | 甲斐  | 俊二 | (延岡地区建設業協会事務局長)    |
| 理事   | 浜本  | 和樹 | (日向地区建設業協会事務局長)    |
| 理事   | 松本  | 健二 | (高千穂地区建設業協会事務局長)   |
| 理事   | 米田  | 昌樹 | (旭化成(株)延岡支社延岡総務部長) |
| 理事   | 甲正  | 健二 | (旭有機材株式会社管材製造所次長)  |
| 理事   | 中園  | 久志 | (株式会社中園工業所代表取締役社長) |
| 理事   | 河野  | 修  | (延岡市商工観光文化部長)      |
| 理事   | 長友  | 正博 | (日向市商工観光部長)        |
| 理事   | 橋口  | 聡  | (門川町地域振興課長)        |
| 常務理事 | 平山  | 国浩 | (宮崎県機械技術センター所長)    |
| 監事   | 薬師寺 | 忠紹 | (延岡市シルバー人材センター理事長) |
| 監事   | 岩田  | 一男 | (門川町商工会事務局長)       |